



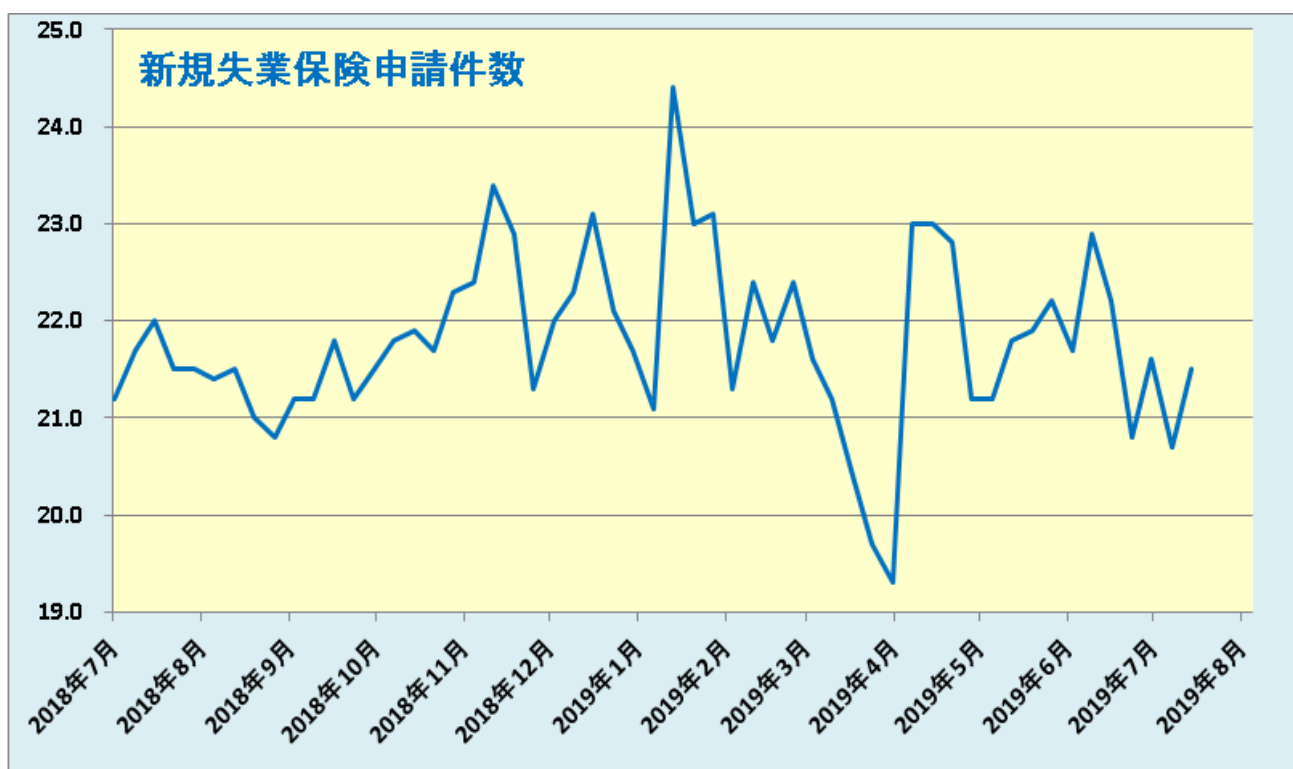
## NY 市場レポート

### 主要な米経済指標結果

**新規失業保険申請件数** 21.5 万件（予想 21.2 万件・前回 20.6 万件⇒20.7 万件）

**失業保険継続受給者数** 169.9 万人（予想 167.4 万人・前回 167.6 万人⇒167.7 万人）

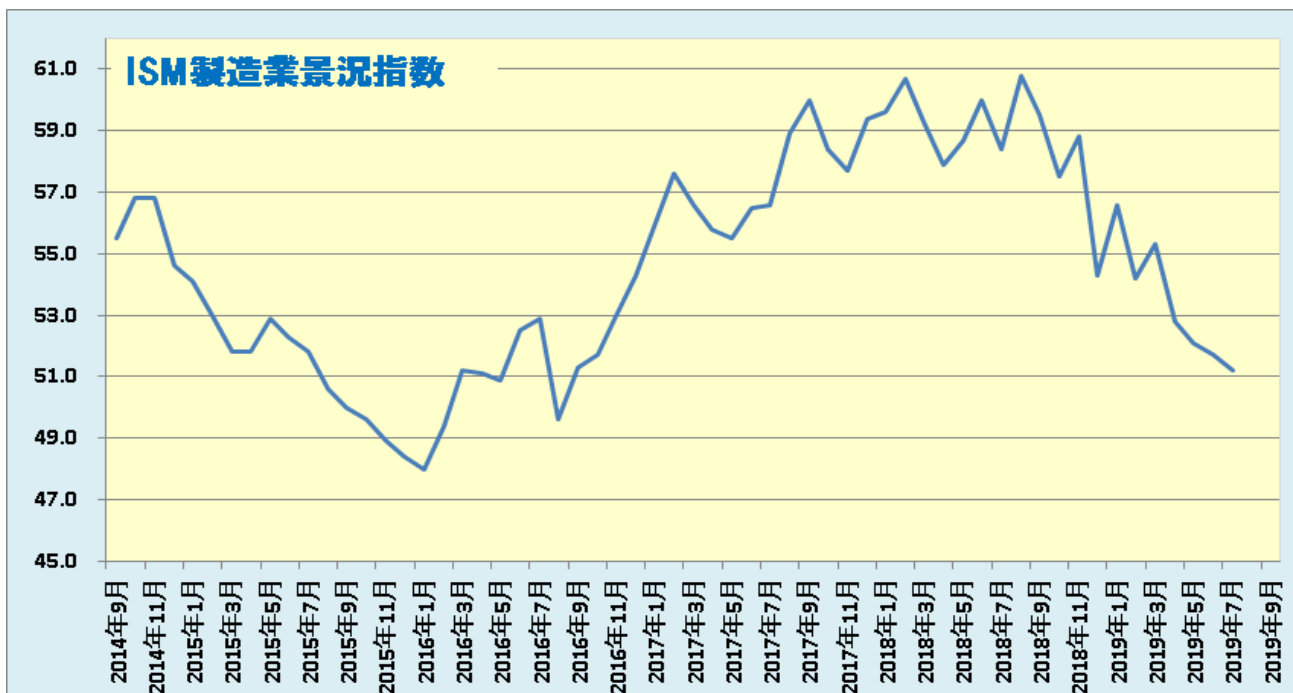
米失業保険申請件数は、前週比+0.8 万件と悪化した一方、労働市場の流れをより正確に反映するとされる申請件数の 4 週移動平均は、前週比-1750 件の 21.15 万件と改善した。また、失業保険継続受給者数は、前週比+2.2 万人となり、4 週移動平均では前週比+750 人の 169.83 万人と強弱交錯する結果となった。



データを基に SBILM が作成

**7月 ISM 製造業景況指数** 51.2（予想 52.0・前回 51.7）

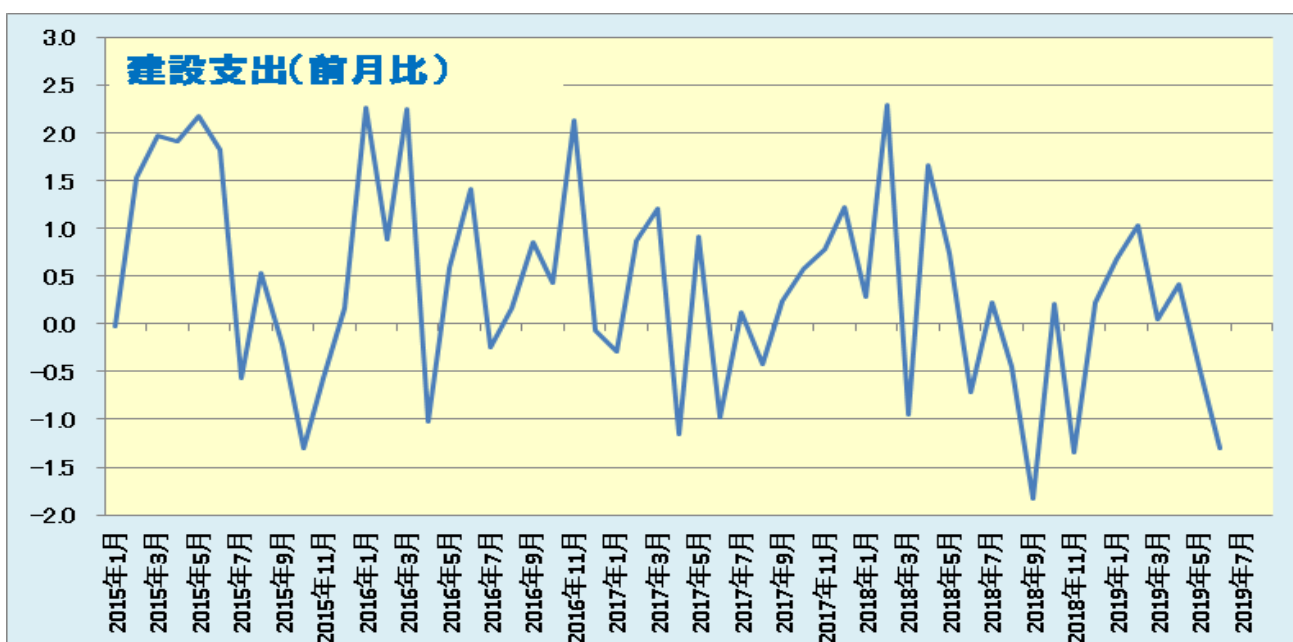
7月の米 ISM 製造業景況指数は、前月から 0.5 ポイント低下し、2016 年 8 月以来 2 年 11 ヶ月ぶりの低水準となったものの、製造業の景気拡大・縮小の判断基準の節目となる 50.0 は 35 ヶ月連続で上回る状況を継続した。内訳を見ると、新規受注が 50.8（前月 50.0）、在庫が 49.5（49.1）と前月から上昇したものの、仕入価格は 45.1（47.9）、生産は 50.8（54.1）、雇用は 51.7（54.5）と低下した。また、18 業種中 9 業種が景況拡大を、9 業種が縮小を報告した。



データを基に SBILM が作成

**6月建設支出（前月比） -1.3%（予想 0.3%・前回 -0.8%⇒-0.5%）**

6月の米建設支出は、市場予想に反して2ヵ月連続のマイナスとなり、2018年11月以来の大幅なマイナス幅となり、前年比では-2.1%となった。民間の建設支出は、前月比-0.4%と、2017年10月以来の低水準となり、前年比では-4.6%。一方、連邦政府など公共部門の建設支出は、前月比-3.7%、前年比では+6.1%となった。



データを基に SBILM が作成

## ダウ平均は約 1 ヶ月ぶりの安値

米株式市場は、序盤に発表された7月のISM製造業景況指数が2年11ヵ月ぶりの低水準となったことで、FRBの追加利下げへの期待感が広がり、主要株価は軒並み堅調な動きとなった。しかし、トランプ米大統領が9/1から3000億ドル（約32.3兆円）規模の中国からの輸入品を対象に10%の追加関税を課すと表明したことを受けて、米中貿易摩擦が世界経済に悪影響を及ぼすとの懸念が広がり、主要株価指数は軒並み下落に転じた。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、前日比311ドル高まで上昇したものの、一時315ドル安まで下落し280ドル安の26,583ドルで取引を終了し、6/27以来約1ヵ月ぶりの安値となった。一方、ハイテク株中心のナスダックは、64ポイント安で終了した。



データを基に SBILM が作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	素材	-3.28%	1	ゴールドマン・サックスG	-3.87%
2	石油・ガス	-2.16%	2	キャタピラー	-3.71%
3	資本財	-1.91%	3	ナイキ	-3.38%
4	消費財	-1.88%	4	DOW	-3.28%
5	金融	-1.47%	5	JPモルガン・チェース	-2.64%

データを基に SBILM が作成

## ドル/円は 7/19 以来 2 週間ぶりの安値

NY 市場では、7 月の米製造業景況指数が 4 ヶ月連続の低下となり、2 年 11 ヶ月ぶりの低水準となったことや、6 月の米建設支出も 2018 年 11 月以来の大きなマイナス幅となったから、FRB による追加利下げ観測が広がり、米 10 年債利回りが 2.1039% から 1.9485% まで低下する中、ドル円・クロス円は軟調な動きとなり、ドル/円は、108.90 台から 108.10 台へ下落した。さらに、トランプ米大統領が、9/1 から 3000 億ドル（約 32.2 兆円）相当の中国製品に 10% の追加関税を公表したことから、米中貿易摩擦が世界経済に悪影響を及ぼすとの警戒感が広がり、それまで上昇していた米主要株価指数が軒並み下落に転じるなどリスク回避の動きが強まり、ドル円・クロス円は一段と下落した。さらに米 10 年債利回りが 1.8746% まで低下したことからドル売り・円買いが加速し、ドル/円は 107.26 まで下落、2 週間ぶりの安値を付けた。



出所：総合分析チャート

## 前営業日のロシアルーブル、ブラジルレアル

### ◇ロシアルーブル

昨日1日のルーブルは対ドルで63.9775ルーブルと対ドルで下落したほか、対円でも1.6906円と下落した。ブレント原油の下落が嫌気されたほか、前日FOMCで追加利下げ観測の後退もルーブル売りに反応した一因となった。

一方、ドル建のロシアRTS株価指数は13.64Pts安の1,346.40Ptsと下落したほか、MOEX指数も2,729.42Pts(10.08Pts安)と6日ぶりに反落した。アジア株や欧州株の下落に加えブレント原油の下落も投資家心理の後退につながった。

### ◇ブラジルリアル

リアルは対ドルで3.8468リアル、対円でも27.879円と対ドル、対円で下落した。トランプ大統領による対中制裁関税への表明を受けて米長期金利の低下とともにドル安となったものの、前日のブラジル中銀の0.5%利下げや追加利下げの思惑がリアル安につながったほか、ブラジル経済指標の下振れも影響した。

一方、ボブスパ指数は313.81Pts高の102,125.94Ptsと反発した。前日に7/3以来の安値へ下落した反動から上昇したものの、6月鉱工業生産が前月比-0.6%と前月(-0.1%)から低下したほか、ブラジル7月製造業PMIも49.9と6月(51.0)から低下したこともブラジル経済の先行き懸念につながり、上げ幅を縮小して取引を終了した。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。